

## 合同防災訓練 H22.2.16

長岡市と当協会にて公共緑地災害対応規定が締結され4年、毎年災害を想定した訓練を行い今回が4回目の防災訓練となりました。昨年末には積雪による倒木が各所で発生し、自然の力を実感する経験をしました。また日頃災害対応連絡網を利用し台風など強風時には警戒を怠らない体制作りが確立しました。(佐藤)

防災訓練に参加して 山村美喜夫

長岡市川西地区での防災訓練に参加しました。作業も正確に機敏で、決められた時間内で終える事ができました。しかし、今回は訓練ということもあり、平常心で人員の配置や道具の手配などが出来たこともスムーズに問題なく作業できた要因の一つだと考えられます。

実際の災害時には地震や台風などで複数箇所の災害が起こり得ますが、出来るだけ冷静に、落ち着いて適材適所の人員の配置、機材、作業車の手配、敏速な行動が更なる課題として残ります。

今後、待機から出動命令が出るまでの僅かな時間に、どれだけの準備を整えられるか、作業条件も限られた中、指揮者の的確な指示と、作業員一人一人の意識の高さ、技術の向上が大きく左右すると思います。



## 平成22年 長岡市緑地協会 安全教育講習会

『リスクアセスメントによる危険予知活動(KY活動)』

田中佑樹

建設業労働災害防止協会の松田勇治様による危険予知活動についての講習会でした。

はじめに緑地協会の防災・安全推進委員長 新井さんによる平成21年の工事事故発生状況について聞き、事故が起きやすい曜日や起きやすい時間帯、起こしやすい年齢などを知りました。

労働災害は、一人一人の些細なうっかりミスやマンネリ、気の緩み、思い込みなどで起こる事がわかりました。事故件数は年々減る傾向にはありますが私たち労働者は一つの事故も起こさないようにしなければなりません。労働災害を改善していくには、起こるかもしれない危険を洗い出し、危険による災害の発生頻度、重症となるかどうかの重大性を数値化、評価し数値



を可能な限り小さくするための、リスクアセスメントが必要だと言われました。緑地協会では下記のとおり安全重点目標を掲げました。

- 一、現場に即した安全教育・訓練の実施による作業員一人一人の安全意識の高揚
- 一、作業開始前のK・Yや朝礼の徹底
- 一、地域住民に対する巻き込み事故の防止
- 一、重機作業時における作業合図の徹底
- 一、墜落及び転落事故の防止
- 一、工事車両の過積載防止と速度順守
- 一、作業現場の環境整備を図り、安全点検の一層の強化

それを踏まえ、毎日の作業前にKY活動をしっかりし一人一人が自覚、注意し一つでも多くの事故を防ぎ、いつでも安全な現場を心掛けて行こうと今回の講習会に参加して思いました。

## 「千秋が原ふるさとの森」

長岡緑地環境協同組合 杉本弘行



「千秋が原ふるさとの森」で働き始めて1年になります。ここに就職する以前は、この公園に来たことが無かったのですが、本当にいい公園だなーと思います。桜の季節も良かったですし、きれいに掃除した池で上がる迫力ある噴水も見事です。結婚式の記念写真を撮っているカップルもいて、とてもいい絵になっていました。噴水を見ながら「雪鹿のジェラート」を食べているご家族を見かけると幸せそうな雰囲気心が和みます・・・。

小さい子供からお年寄り、車イスの方などいろいろな方が大勢訪れる公園ですので、みなさんが安全に楽しく遊べる公園に出来るように組合のみなさんと一緒にがんばっていきたいと思います。

うーん、今日もいい天気だー！

